

9/28
土

無症状でもPCR検査

厚労省方針

医師判断で保険適用

新型コロナウイルスによる院内感染を防ぐため、

厚生労働省は、症状がない患者へのPCR検査にも公的医療保険を適用する方針を決めた。発症前から人に感染させる可能性があるとわかつて、これが背景にあり、医療現場からの要望が相次いでいた。

厚労省は中央社会保険医

療協議会(中医協)で24日、

症状がない入院患者についても、治療をやる上で医師

が必要と判断した場合に限

りPCR検査ができるとの見解を示した。症状のない患者へ

R検査ができるとの見解を示した。症状のない患者へ

R検査ができるとの見解を示した。症状のない患者へ

R検査ができるとの見解を示した。症状のない患者へ

R検査ができるよう

万円程度かかっていた。

背景には、医療現場から

の声がある。

「院内感染を防ぐ最初の

ステップだ」。医学部を設

置する大学と病院でつくる

全国医学部長病院長会議は

20日、すべての入院患者に

対し、手術などの前にPCR

R検査を公費ができるよう

いすれも新型コロナの特徴

的な症状は確認されず、感染者を探し出す難しさが浮き彫りになった。

手術などで入院する人が感染していても、肺炎などの症状がなければ見逃され、ほかの患者や医療スタッフに感染を広げる恐れがある。院内感染が相次げ

にしつづいてはいるに要望しなった。東大病院では今月中旬から、外科手術を受ける患者に対し、無症状でも手術直前に検査しているとい

う。日本脳神経外科学会のほか、日本内科学会と日本感染症学会は連名で、それぞれ声明を出すなど、広がりを見せていた。

慶應大病院の調査では、

新型コロナウイルス以外の病気で入院する前の患者67

人に検査したこと、4人

(約6%)が陽性だった。

（市野塊、土肥修、久永隆）

理能力との兼ね合いで、どんな場面の検査が優先されるべきかという観点も勘案し、今後、保険対象の事例を示すことを検討している。

医療界にも慎重な意見は

ある。宮城県立こども病院の室月淳・産科科長は、検査しても偽陽性や偽陰性になる可能性があるため、感染者が少ない地域では混乱が起るリスクの方が大きいと指摘する。検査の資源

も限りがあり、「行った検査に労力や費用を使うなら、防護服などの確保にもっと力を入れ、すべての患者に対して感染を想定した対応をすべきだ」と話す。（市野塊、土肥修、久永隆）